

三朝町望ましい小学校施設等に関する提案書 別冊資料

令和2年7月

三朝町望ましい小学校施設等検討委員会

▽ 新たな小学校施設等の望ましい基本的な整備方針検討結果

新たな小学校施設に望まれる普通教室など各学習関連諸室、便所・手洗いなど生活関連諸室、及び事務室など管理諸室の規模、個所数等基本的な整備方針について、「みささっ子教育ビジョン」及び先進事例等を踏まえた検討結果を以下に示すとともに、検討委員会において配置計画、ゾーニングの検討に使用した平面図を、メリット・デメリットを記した参考図として添付する。

① 普通教室 … 約 80 m²

- ・ 9 m×9 mを基本とする。
- ・ 南向きの部屋とし、自然採光、自然通風に配慮する。
- ・ 教室周りの収納スペースや展示掲示スペースを確保する。
- ・ ホワイトボードの上部にプロジェクターまたは周囲に大型提示装置を設置する。
- ・ 原則として、2教室あたり1か所は教材室を設ける。

② 特別支援教室 … 約 40～80 m²

- ・ 採光、通風に加え、吸音、遮音にも配慮する。
- ・ さまざまな学習形態を考慮し、上記普通教室と同規模の教室とその半分の規模の教室を設け、収納スペースや目隠しカーテン等も設ける。
- ・ 保健室や職員室と連携がとりやすい配置とし、2室は1階に配置する。
- ・ 教室内に手洗いを設置する。

③ 通級指導教室 … 約 80 m²

- ・ 普通教室と同規模にする。
- ・ 採光、通風に加え、吸音、遮音にも配慮する。
- ・ 町外から通う児童生徒を考慮し、1階に配置する。

④ 理科室 … 約 160 m²

- ・ 騒音や振動等が他の教室に影響を及ぼさない仕様とする。
- ・ 準備室を設ける。
- ・ 収納スペースや展示掲示スペースを確保する。
- ・ 将来的に2室（小中学校別）とする。

⑤ 音楽室 … 約 160 m²

- ・ 吸音性能を有する空間とする。
- ・ 準備室を設ける。
- ・ 体育館や屋外への楽器の移動経路を考慮する。
- ・ 声楽等の授業に対応するため鏡を設ける。
- ・ 将来的にも小中学校共用の教室とする。

⑥ 家庭科室 … 約 160 m²

- ・ 調理と被服の授業を行うためそれぞれ1室ずつ設ける。
- ・ 準備室を設ける。
- ・ 電子レンジやミシン等を使えるよう、適切に電源設備を設ける。
- ・ 収納スペースや展示掲示スペースを確保する。

⑦ 外国語活動室 … 約 80 m²

- ・ 体を動かしての学習や、床に座っての活動が行える空間とする。
- ・ 会話や音声を用いた学習を鑑み、吸音に配慮する。
- ・ 収納スペースや展示掲示スペースを確保する。

⑧ 図工室（美術室、技術室） … 約 160 m²

- ・ 準備室を設ける。
- ・ 将来的に図工室と技術室を兼用とする。

⑨ 多目的室 … 約 300 m²

- ・ 展示掲示スペースを確保し、大型提示装置を設置する。
- ・ 吸音性能を有する空間となることが望ましい。
- ・ 将来的にも小中学校共用の教室とする。

⑩ 図書室 … 約 240 m²

- ・ 校舎1階中央に配置し、気軽に入りやすい空間とする。
- ・ 本棚や椅子、展示スペースに特徴をもたせる。
- ・ 貸出カウンターは全体が見渡せる位置に設ける。

⑪ 教育相談室 … 約 20 m²

- ・ 3室程度確保する。

- ⑫ 校長室 … 約 60 m²
- ・ 来客用玄関に近い1階に配置する。
 - ・ 職員室、共同事務室と連携を図りやすい配置に考慮する。
 - ・ 室内に来客対応ができる応接セットを設ける。
 - ・ 将来的に2室（小中学校別）とする。
- ⑬ 職員室、共同事務室、休憩ラウンジ、職員更衣室、資料室 … 約 630 m²
- ・ 職員室内に共同事務室エリアを設けるとともに、来客等対応のため、来客用玄関に隣接して配置し、窓口を設ける。
 - ・ 校庭が見渡せ、児童（生徒）を見守れる環境とする。
 - ・ 個人情報保護等の観点から資料収納スペースを充実させる。
 - ・ 印刷コーナーと作業台を設け、授業の準備が行いやすい空間とする。
 - ・ 給湯スペースと打合せスペースがある休憩ラウンジを設け、教職員がリラックスしてコミュニケーションを図れる空間とする。
 - ・ 職員室と職員更衣室、資料室の動線を考慮する。
 - ・ 職員更衣室は教職員数に応じた十分な広さを確保する。
- ⑭ 保健室 … 約 80 m²
- ・ 1階の校庭に面した位置とし、救急車の寄り付きを考慮する。
 - ・ 校庭から直接児童（生徒）が入れる構造とする。
 - ・ 教育相談室と連携できる配置を考慮する。
 - ・ 収納スペースや展示掲示スペースを確保する。
 - ・ 多目的トイレとシャワー室を備える。
 - ・ 将来的に2室（小中学校別）とする。
- ⑮ 配膳室 … 約 80 m²
- ・ 児童（生徒）が給食を円滑に運べる動線を考慮する。
 - ・ 給食車の寄り付きを考慮するとともに、将来的に調理センターが隣接して建設される可能性に配慮した位置とする。
- ⑯ 会議室 … 約 80 m²
- ・ 普通教室と同規模の空間を確保する。
 - ・ 2室を1室として使用できるよう間仕切り建具を設ける。
 - ・ 教職員全員での会議が行える設備を備える。

- ⑰ 放送室 … 約 10 m²
- ・ 職員室そばに配置する。
- ⑱ コミュニティルーム … 約 80 m²
- ・ 学校運営協議会や学校支援ボランティアの活動拠点として、地域開放ゾーンに配置する。
 - ・ 地域やPTAの会議ができる備えを行う。
 - ・ 収納スペースや展示掲示スペースを充実させる。
- ⑲ トイレ、手洗い … 約 10 m²～60 m²
- ・ 原則、洋式トイレとし、児童生徒の人数を考慮した適切な数を設ける。
 - ・ 手洗い場も含めて明るく快適な空間とし、個室の戸を工夫する等省スペースに配慮する。
 - ・ 校舎各階に児童生徒用トイレ及び多目的トイレを設けるとともに、1・2階に職員来客（大人）用トイレを設ける。
 - ・ 床や手洗い場のシンク等、維持管理を考慮した仕様とする。
 - ・ 1階または外部倉庫等に校庭から直接入れる児童生徒用トイレも適切な数を設ける。
- ⑳ 体育館 … 1,386 m²（現トレーニングセンター）
- ・ 学校校舎からの円滑な移動がしやすい半屋外通路により接続された環境が望ましい。
 - ・ 学校行事を想定したステージの検討を行う。
 - ・ 児童生徒の身体への負担軽減と維持管理費の削減が可能な材を使用した床とする。
 - ・ 地域に開放する施設として洋式トイレと男女更衣室、下足入れを設ける。
 - ・ 将来的にも小中学校別とする。
- ㉑ プール
- ・ 最低でも7コースかつ25mとし、観覧席を設置する。
 - ・ 災害時の雑用水として活用できるバルブを設ける。
 - ・ 小中学校共用とし、水深等の仕様は小学校を基準とする。
- ㉒ 校庭 … 約 4,150 m²(ミニグラウンド)+8,860 m²(小学校グラウンド)
- ・ 小学校校舎を配置する敷地内に、児童が安心して遊べるグラウンドを設

ける。

- ・ 校庭の脇には鉄棒等の遊具および、花を植えたり農作業ができたりする花壇や学級菜園を設ける。
- ・ 体育や各種大会練習でトラックとして利用する場合は、現在の小学校グラウンドを使用する。

⑳ その他

- ・ 校舎内全ての教室にエアコンを設置して職員室で集中管理を行うとともに、体育館についても設置することが望ましい。
- ・ 校舎内の廊下はゆとりのある幅を確保し、展示掲示スペースを設ける。
- ・ 敷地内全ての場所がインターネット接続可能環境となるよう無線LANを整備する。
- ・ 玄関は児童（生徒）用と職員用を分け、職員用は来客用を兼ねる。
- ・ 児童（生徒）用玄関の各児童（生徒）用下足入れスペースは、十分な大きさを確保する。
- ・ 駐車場は来客用として校舎南側に 10 台程度、道路を隔てた校舎南側に教職員用として 70 台以上のスペースを確保する。
- ・ 児童生徒用更衣室を確保する。
- ・ 中学校生徒会室を確保する。
- ・ 災害時に対応できるよう非常用電源を確保する。